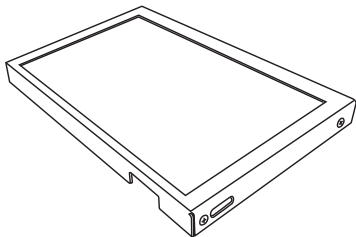


# モニタリングモニター

# 5



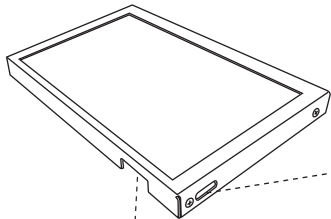
液晶サイズ	5 インチ
パネル	IPS
解像度	800 x 480
本体サイズ	約 123 x 78 x 10 mm
本体重量	約 90g
付属品	USB A-C ケーブル (約 140cm)
	USB 9pin - 4pin ケーブル
	スタンド / ○型 両面テープ
対応 OS	Windows 11 / 10 / 8.1 / 7

## ご利用上の注意

- パソコンの内部に取り付ける場合は、パソコンの電源及び周辺機器の電源を OFF にしてから取付作業を行ってください。
- パソコンで使用直後はパソコン内部に触れないでください。内部に高温になる部分があり危険です。冷めるまでお待ちください。
- 液体、異物が入らないように注意してください。また、本製品を高温、多湿、火気周辺、結露が発生する場所、強い磁気が発生する場所、平ではない場所、その他常識では考えられないような場所で使用しないでください。
- 本製品を取り付ける場合は、本書とそれら取り付けるパソコン及び周辺機器の取扱説明書を併せてご確認ください。
- 異音、異臭がする場合は直ちに使用を止め、当社までお問い合わせください。
- 本製品は精密機器になります。本製品の落下、強い衝撃、静電気を与えないように作業してください。
- 本製品に触れる前に身体の静電気を取り除いてください。静電気が発生しづらい衣類を身に着けて作業を行ってください。
- 本製品を接続する前に必ずパソコンデータのバックアップを行ってください。本製品の故障又は使用上生じた他機器の破損、損害及びデータ損失につきましては一切の責任を負いません。
- 特定の機器でのみ発生する不具合につきましては保証対象外となります。
- 本製品を破棄する場合は、各地方自治体の条例に従って廃棄してください。

## ■端子

本製品を接続してから PC の電源を入れてください。



### TypeC ポート

USB A-C ケーブルを用いてパソコンと接続する場合はこちらのポートを使用してください。

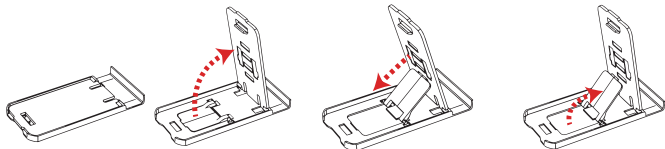
### 4pin

USB 9pin - 4pin ケーブルを用いてパソコンと接続する場合はこちらのポートを使用してください。

※同時に接続してもご利用頂けません。

※USB Hub ではご利用頂けません。

## ■スタンド



## ■ソフトウェア

ソフトウェアは下記商品ページよりダウンロードを行ってください。

<https://area-powers.jp/product/others/4580722551005/>

実行ファイルをダウンロードして頂く関係でウィルス対策ソフトによってはウィルスと判断してダウンロードが出来ない場合がございます。

お手数ですが、ウィルスソフトを一時停止してダウンロードを行ってください。

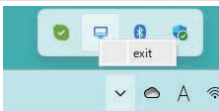
ダウンロードファイルは圧縮されていますので展開(解凍)してご利用ください。



本ソフトウェアはパソコン起動時に都度起動して頂く必要があります。

実行ファイル(.exe)を実行して頂きますとタスクバー内に収納されています。

こちらをダブルクリックをして頂くと画面(ページ2-1)が表示されます。

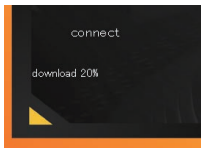


ソフトの終了方法。

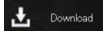
ソフトを終了する時はアイコンを右クリックすると表示される「exit」をクリックしてください。

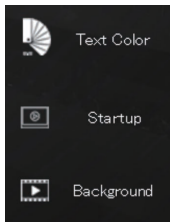
## ■スクリーンの切替

ページ 1-4 を実行して頂くと下記画面が表示されます。



画面左右の◀▶にてお好みの画面を選んで切り替えてください。—  
選択後 Download を押してください。◀▶  
画面左下に進行が表示されます。◀▶  
100% になるとディスプレイの画面も切り替わります。





### Text Color

選択中テーマの文字の色を変更する事が可能です。

※文字の個別選択はできません。

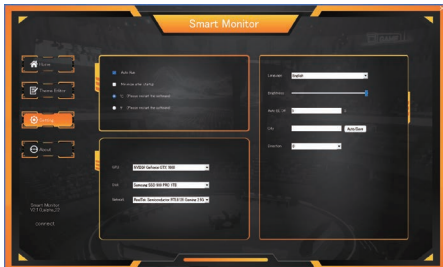
### Startup

テーマ起動前に表示する画面を選択する事ができます。

### Background

選択しているテーマの背景画像を変更する事が可能です。

## ■バックライトの消灯



- Brightness

画面の明るさ調整が可能です。

- Auto BL Off

パソコンがスリープ設定の場合、本製品は点灯したままになります。

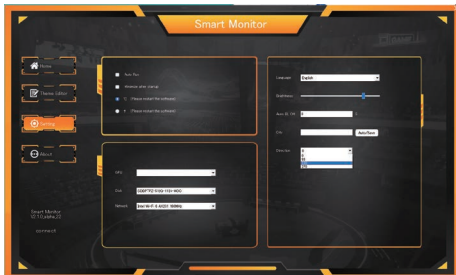
こちらを設定して頂く事で画面消灯が可能です。

Auto BL Off  S

0 - 30 の値が入力可能です。

※0 は点灯したままになります。

## ■画面の表示を回転



- City

今後、機能追加予定です。

現在ご利用頂けません。

- Direction

プルダウンより回転させたい角度を選択してください。

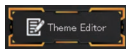
この後、再度テーマをダウンロードすると反映されます。


Direction

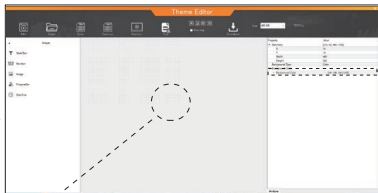
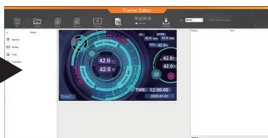
## ■オリジナルスクリーンの作成



①画面左の「Theme Editor」をクリックしてください。別ウィンドウが開きます。



②画面左上の New  をクリックしてください。保存先ファイル名を決めて保存をして頂くと無地の画面になります。



--- クリックして選択しておいてください。

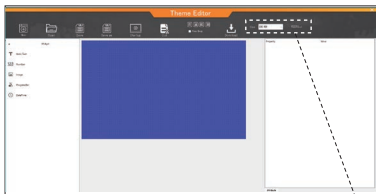


初期値では Background Type が Color になっていますので Background Color 項目横の数値をクリックしてください。... が表示されるのでこちらをクリック。この状態で色が選択可能になります。お好みの色に変更してください。

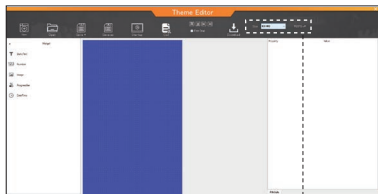


## ■配置 縦、横

スクリーンの配置にあわせて縦横を事前に決めてください。

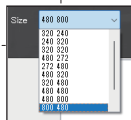


横 800 480 pixel (横位置)

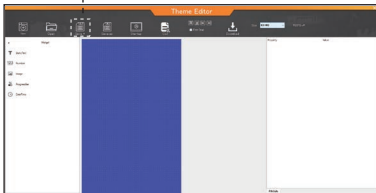


横 480 800 pixel (縦位置)

プルダウンより選択可能です。





## ■保存

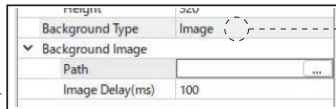
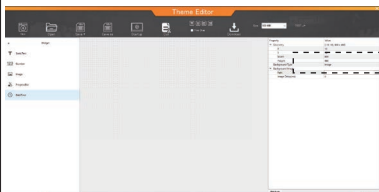


Save をクリックすると保存します。


\* は変更が加えられた時に表示されます。

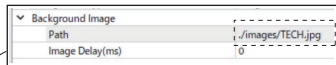
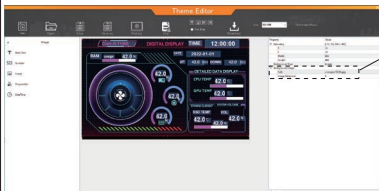
また  にて別名保存か、 にて保存して頂くと \* は消えます。

## ■Back ground Image(背景)の配置



初期値では Background Type が Color になっていますので「Color」をクリックして頂き▼から「image」にしてください。

次に Path 横の空白をクリックして頂くと  が表示されますのでこちらをクリックしてください。配置する画像を選択すると画面内に表示されます。



Pathの横の表示画像のパスになっています。



ここで保存を行います。

\*が消えると保存されたことを意味します。

この時、改めて画面内配置した画面をマウスでクリックし選択した状態にし、Pathを確認してください。Pathが自動的に変更されます。

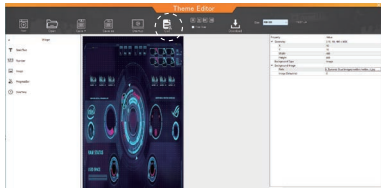
これは選択した画像を New で作成したフォルダにコピーを作った為です。

Back ground Image で使用出来る  
画像は .jpg / .bmp になります。

背景画像の作成に関しましては [横置 800 x 480 pixel / 縦置 480 x 800 pixel] で作成してください。  
正常に表示されない場合は、画質を落としてファイルサイズを軽くしお試しください。

## ■Cut につきまして

※Background Image が収まらない場合にご利用ください。



Cut は 3-2 で配置した Background Image の調整が出来る機能になります。

image を配置していない状態では黒い画面が映るだけになります。



**Fill**

比率等のバランスは崩れますが、枠内に収まるように自動調整されます。

**Zoom In**

画像を拡大します。

**Zoom Out**

画像を縮小します。

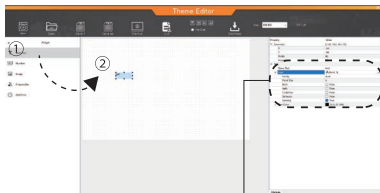
**OK**

Fill / Zoom In / Zoom out の調整結果をソース元の画像に反映します。

**Cancel**

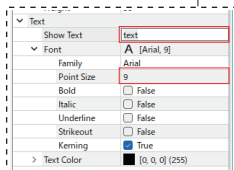
Cut の操作を取りやめます。

## ■ Static text



①でアイコンをドラッグし、②の表示範囲でドロップしてください。「text」と表示されます。

配置場所はダブルクリックで移動可能です。

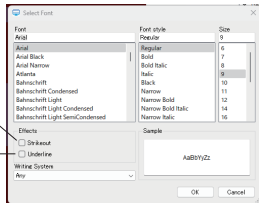


文字入力には Show Text にておこないます。

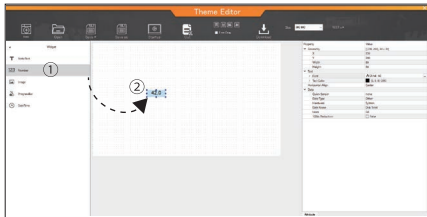
左の例の画像で [ text ] の部分に文字を入力してください。

Point Size にて文字の大きさを変更できます。

フォントを変更する場合は Font を選択して頂くと  が表示され、クリックすると別ウィンドウが開きます。



## ■Number



①でアイコンをドラッグし、②の表示範囲でドロップしてください。「42.0」と表示されます。配置場所はダブルクリックで移動可能です。

配置した数値はQuick Sensorの選択により、内容が異なります。

Data	
Quick Sensor	none
Data Type	Other
Hardware	System
Data Name	Disk Total
Units	GB
1024x Reduction	<input type="checkbox"/> False

※表示が出来ない場合がございます。

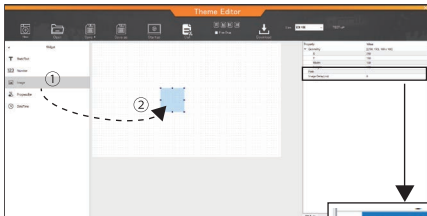
ご利用のPCメーカー、マザーボード等によって情報がとれないようになっている場合がございます。予めご了承ください。

## ■Quick Sensor 選択可能な一覧 ←

none	ram usage
cpu temperature	ram available
cpu clock	ram usage
cpu usage	disk temperate
cpu fan	disk total
gpu temperature	disk used
gpu clock	disk available
gpu usage	disk usage
gpu memory clock	network upload
gpu memory usage	network download
ram used	sound volume
ram available	

temperature	→ 温度
usage	→ 使用率
available	→ 未使用容量

## ■ image

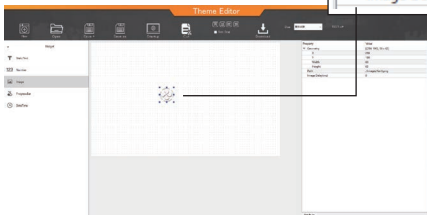


①でアイコンをドラックし、②の表示範囲でドロップしてください。

フレームが表示されます。

配置場所はダブルクリックで移動可能です。

ここでは Background の上に配置する画像を置く事が可能です。



をクリックして配置したい画像を選択してください。左の図のように配置がされます。この時、画像の Path は最初の画像の配置位置の Path を表示していますが、Save した時に保存先フォルダが異なると変更されます。※これはシーケンスを行う場合は保存先フォルダにデータを入れる必要がある為です。

シーケンスによる動きを付ける場合はファイル名 0 ~ 50 の合計 50 枚で行うことが可能です。

image Delay(ms) はこの間隔調整に使用します。右の例ですと fan0.png を image で配置します。保存先フォルダの同じ箇所に fan1.png / fan2.png を置いてください。Image Delay の設定間隔で 0 ~ 2 を順に表示します。



fan0.png

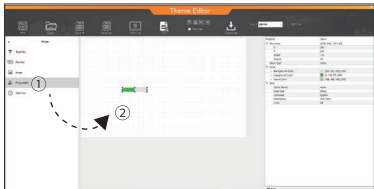


fan1.png



fan2.png

## ■ProgressBar



①でアイコンをドラックし、②の表示範囲でドロップしてください。■が表示されます。

配置場所はダブルクリックで移動可能です。

このバーは Number(4-1) で配置した数値をサイドバーにしたイメージです。

※ProgressBar は%で計算出来る値のみ表示可能です。

※表示が出来ない場合がございます。

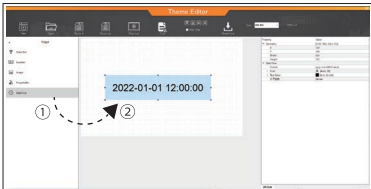
ご利用のメーカー、マザーボード等によっては情報が取れないようになっている場合がございます。予めご了承ください。

## ■選択可能な一覧

none	ram usage
cpu temperature	ram available
cpu clock	ram usage
cpu usage	disk temperate
cpu fan	disk total
gpu temperature	disk used
gpu clock	disk available
gpu usage	disk usage
gpu memory clock	network upload
gpu memory usage	network download
ram used	sound volume
ram available	

temperature	→ 温度
usage	→ 使用率
available	→ 未使用容量

## ■DateTime



左の DateTime をドラッグし、表示エリアにドロップしてください。

※フォントによっては文字化けする場合がございます。そのような場合は別のフォントをご利用ください。

DateTime は日付や時間の表示を行います。

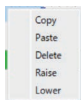
01-01 12:00

Format を [mm-dd hh:nn] と手動入力して頂くと表示を月日時分だけの表示にすることも可能です。

横幅に余裕のない縦表示の時などにお試しください。

### オブジェクトの階層

文字より画像が上にある状態の時は、文字を選択して右クリックして「Raise」をクリックしてください。または画像を右クリックして「Lower」をクリックして前後を入れ替えます。



### オブジェクトの複数選択

オブジェクトの整列をする場合、複数選択が必要になります。「Ctrl」キーを押しながら選択するオブジェクトをクリックしてください。





## ■その他のアイコンに関しまして



New

新規ファイルの作成を行います。



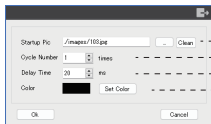
Open

保存済みのファイルを選択して開きます。

## Startup Image

起動時の画像を選択する事ができます。

Back ground Image が横配置の時のみ、ご利用頂ける機能です。



Startup 画像の位置を選択します。

表示回数を入力してください。※通常は「1」を入力してください。

複数回表示する場合の間隔を設定できます。

作成時 (2024/1 月時点) ではまだ使われない機能となっています。

整列



Ctrl キーを押しながらオブジェクトを複数選択した状態で整列キー押すと、整列します。

Free Drag



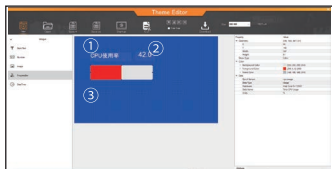
グリッド配置をフリーで配置出来るようになります。

Cut

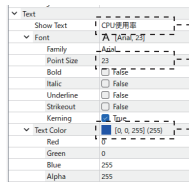
BackGround のイメージに対してサイズ調整を行うものとなります。

(3-3 参照)

## ■配置例 (これまでのページでの内容を使用した配置例です。)



①StaticText を表示エリアにドラッグ&ドロップします。

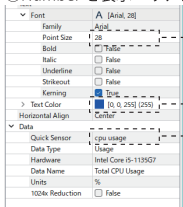


-- 「CPU 使用率」と入力。

-- PointSize(文字の大きさ)を  
23へ変更。この時フレーム  
(青い点)を広げてください。

-- 背景とのバランスに合わせて  
色を変更。

②Number を表示エリアにドラッグ&ドロップします。

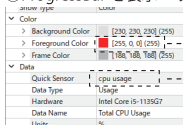


PointSize(文字の大きさ)を 28 へ変更。  
この時フレーム (青い点) を広げてください。

背景とのバランスに合わせて色を変更。

Quick Sensor の項目を Static Text で入力した CPU 使用率を意味する  
「cpu usage」を選択。

③ProgressBar を表示エリアにドラッグ&ドロップします。



背景とのバランスに合わせて色を変更。

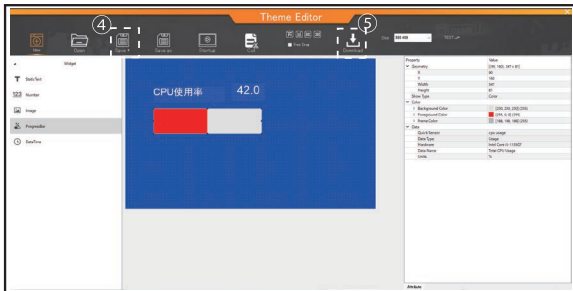
Quick Sensor の項目を Static Text / Number で入力した CPU 使用率  
を意味する「cpu usage」を選択。

最後にフレーム (青い点) でサイズを調整してください。

以上の手順で例の表示になります。

同じ事を「GPU 使用率」等の表示したい内容に変えて  
増やして頂けます。

## ■4-4で作成したデータを保存し、ディスプレイに表示させる



④Save を行ってください。

⑤Download をクリックして頂くとモニターへダウンロードが始まります。  
100%になるまでお待ちください。

・注意  
Save\* と表示されている状態では Download  
は行えません。

## FAQ

Q\_ 情報が取り出せないメーカー

A\_ Dell 製品は情報が取り出せないことが確認されています。

Q\_ 配置した画像が正常に表示されない。

A\_ 解像度が超過していないか確認してください。

また、本製品のメモリ容量は 8MB になります。これには作業領域も含まれます。

実質の合計容量は 3～4MB 程度を目安としてください。

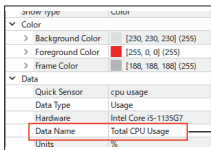
Q\_ モニターがつかみません。

A\_ USB 電源オプションの設定変更 (6-1) をお試しください。

USB Hub ではご利用頂けません。

Q\_ ProgressBar が動きません。

A\_ ProgressBar は%で表せる数値のみでご利用頂けます。



sensor type		unit
▼ Color		
> Background Color	[230, 230, 230] (255)	
> Foreground Color	[255, 0, 0] (255)	
> Frame Color	[188, 188, 188] (255)	
▼ Data		
Quick Sensor	cpu usage	
Data Type	Usage	
Hardware	Intel Core i5-1135G7	
Data Name	Total CPU Usage	
Units	%	

cpu usage をご利用している時に動きが出来ない場合は、Data Name の箇所を Total CPU Usage に変更をお試しください。

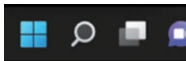
Q\_ 正常に表示ができません。

A\_ ① 画像解像度の変更 ② 外枠ギリギリ過ぎるとエラーになります。③オブジェクトの配置が多すぎる。一部削除すると今まで表示されなかったオブジェクトが表示される場合がございます。

Q\_ 複数同時接続に対応していますか。

A\_ いいえ、本製品を複数同時に接続する事はできません。

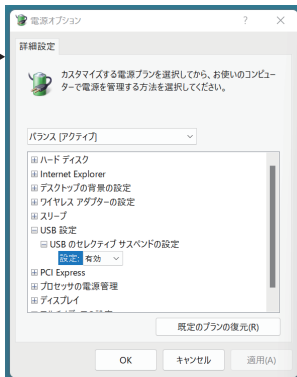
## USB 電源オプション 設定変更 (Windows11)



検索にて「電源プラン」と検索してください。



「詳細な電源設定の変更」  
をタップしてください。



ツリー表示の中から「USB 設定」→「USB の  
セレクトティブ サスペンドの設定」を無効にしてください。  
最後に「適用」をクリックして完了です。